

無加温で5月出しが可能な夏ギク「サマーイエロー」の優良栄養系の選抜

開花揃いが悪く、5月中の採花割合が低い夏ギク「サマーイエロー」の栄養系選抜によって得られた優良栄養系B - 33 - 4は、開花揃いが良いため12月下旬定植の無加温栽培で5月出しが可能である。

農業研究センター農産園芸研究所花き部 (担当者: 渡邊 功)

研究のねらい

黄色輪ギクの5月出しは、秋ギクを用いた12月出しの2度切りと夏ギク「サマーイエロー」の冬至芽を用いて取り組まれている。2度切りでは暖房費が高コストであることが、また「サマーイエロー」では、5月中に採花できる割合が低いことと、開花揃いが悪く切り始めから切り終わりまで約1ヶ月かかることが問題になっている。そこで、低コスト生産が可能な「サマーイエロー」について、5月中に採花でき揃いが良い栄養系を選抜する。

研究の成果

- 1 B - 33 - 4は、在来栄養系と比較して採花期間が短く開花揃いが良い(図1、図2)。
- 2 B - 33 - 4を12月下旬定植の無加温栽培で、切花長97cm、切花重95g程度の切花が得られる(表1)。
- 3 B - 33 - 4は、12月下旬定植の無加温栽培で5月中の採花が可能である(表3)。

普及上の留意点

- 1 切り下株から生じる冬至芽を用いると早期に発蕾する株が生じやすい。
- 2 増殖方法
 - 1) 台刈り後生じた芽を8月中旬に挿し芽し、8月下旬から9月上旬に親株床に定植する。
 - 2) 活着後3週間に1回合計3回500~1000倍に希釈したエスレル液剤を散布する。
 - 3) 親株の伸長に合わせて土寄せし、発生する側枝の発根を促す。

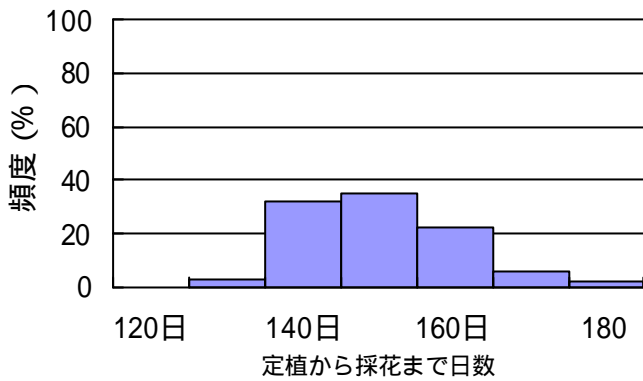


図1 収集32栄養系の採花まで日数の分布(平成11年1月11日定植)

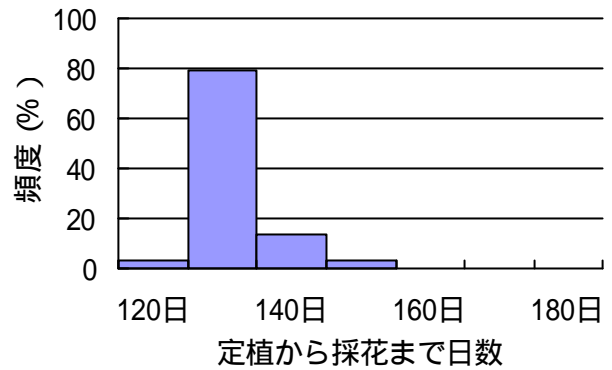


図2 B-33-4の採花まで日数の分布(平成12年12月21日定植)

表1 選抜栄養系の採花期と切花形質

系統	平均採花日	切花長 (cm)	花首長 (cm)	葉数	やなぎ葉数	茎径 (mm)	切花重 (g)
B-33-4	5/7	97.7	4.3	44.6	2.0	6.8	95.4

注) 平成12年12月21日定植の無摘心栽培。

表2 選抜栄養系の花の形質

系統	蕾長 (mm)	蕾径 (mm)	花径 (cm)	舌状花数	花色
B-33-4	26.8	24.9	11.5	316	鮮橙黄

注) 蕾長・径は切前表3の値(改訂版花の切り前)。花径は圃場で満開時の値。

表3 選抜栄養系と在来栄養系の採花期間の比較(現地展示圃)

系統	定植日	採花期間							
		5月10	5月20	5月30	6月9	6月19	6月29	7月9	
B-33-4 鹿本在来	12月23日 12月17日			—		—	—		

注) 実施年度: 平成12年度。仕立て方法: 摘心栽培の3本仕立て。